

一般質問通告書

受領日時 令和6年11月27日 午前・午後11時00分 8番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 子供の遊び場の確保について	(1) 令和2年6月定例会の私の一般質問で五城目小学校が雀館に完成すれば雀館運動公園一帯が町のメインになり、公園と小学校という賑やかな光景が目浮かぶ。公園からは、新校舎の背景に五城目町のシンボル、森山が望める。そこで、雀館公園の駐車場側の斜面(森山が望める斜面)と斜面から接続しているモニュメントのある緑地帯を利用した子供の遊び場、「アスレチック」の設置を提案していた。 今回は以前の質問に加え上の広場も利用した遊具やブランコの設置、斜面(森山が望める斜面)を利用した滑り台などを設置し、楽しみながら身体能力の向上を目指す。いろんな人が集まり交流の場が生まれ、子供も大人も心地よく過ごせる場所に雀館公園になることを再提案する。 (2) 子供や若者が住みやすい環境、子育てしやすい環境を整えるため「五城目町こども計画」を策定中であるが、五城目町のこれからについて意見を出し合うワークショップ「五城目しゃべり場」を11月4日と10日に開催したと伺ったが、どのような意見が出ていたかをお知らせ願いたい。
2 立地適正化計画の策定状況について	(1) 秋田県内で立地適正化計画の策定済みの市町は令和6年8月1日時点で7市1町となっており、今後の策定予定市町に五城目町があった。現在の策定状況を教えていただきたい。 (2) 今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが大きな課題だ。 医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、コンパクトなまちづくりを進めるための取り組みが重要だとは考えるが、「居住誘導区域」外は住みにくくなってしまうなどというデメリットもあると聞く。 家が住みにくくなったら売却を考える方もいるかもしれない

	が、「居住誘導区域」外にある住みにくい家は売却価格も安くなってしまうことがあると考えられる。限界集落に拍車がかかることを懸念するが当局の考えを聞きたい。
3 水道料金の改定 時期について	（１）最近の報道で「施設の老朽化や人口の減少などで厳しい経営状況が続く水道事業について、今から 20 年余り先には赤字を避けるために、全国の 96%の事業者で料金の値上げが必要となり、値上げ率は 48%にのぼるとの推計結果を研究グループが公表したとあった。 専門家は「先送りにするほど将来の値上げ率は高まる。将来世代のためにも、定期的な料金の見直しの議論を進めるべきだ」と指摘。 また、北秋田市水道料金審議会では「15 年以上据え置かれてきた料金を 2026 年度に改定し、値上げする方針を示した。」と報道があった。 五城目町水道事業及び下水道事業経営等審議会では、水道料金の改定等について審議されているのか、また料金改定時期についてもお知らせ願いたい。